

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
数学	数学演習理系	3	2	理系選択

到達目標	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで履修した内容を、演習を通してより確実に理解習得し、将来の進路に向けての十分な数学的な基礎知識をつける。また、大学受験に備えて、過去に出題された問題にチャレンジすることで、解放のパターンを習得していく。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	入試問題演習 理系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習 ① 数と式 ② 2次関数 ③ 図形と計量	≪1学期≫ ・各タイプの例題を必ず予習する ・各タイプ毎に最も基本的な問題を1題選び、演習・解説する。 ・基礎を固める。 ・確実性とスピードを伴った計算能力を身につける。 ・問題を解く際にはグラフや図形を書くことによって、イメージをつかむことが大切であることを理解し、実行できるようにする。	
	入試問題演習 理系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習 ① データの分析 ② 場合の数と確立 ③ 図形の性質		
2学期中間	入試問題演習 理系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習 ① 整数の性質 ② 式と証明 ③ 複素数と方程式	≪2学期≫ ・やや発展的な問題の演習をすることにより、実際に入試問題を解ける実力をつける。 ・1学期に学習した基本の組み合わせに過ぎないことを理解する。 ・基本さえマスターすれば、後は気合いと反復練習のみであり、実際に問題を解ける楽しみを味わうことで、積極的に問題演習に取り組む。	
	入試問題演習 理系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習 ① 図形と方程式 ② 三角関数 ③ 指数関数と対数関数		
学年末	入試問題演習 理系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習 ① 微分法と積分法 ② ベクトル ③ 数列	・上記と同様であるが、自信をもって問題に取り組むことができるようにする。	

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・定期考査、小テスト 思考・判断・表現・・・定期考査、課題提出、学習活動への参加態度 主体的に学習に取り組む態度・・・小テスト、課題提出、学習活動への参加態度
--------------------------	--

教科からのアドバイス

数学Ⅰ・Aについて再度復習し、教養問題にも取り組み、それを通して身についた実力として今後の生活に役立てて欲しい。